

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 28 年 5 月 19 日 (2016.5.19)

【公表番号】特表 2015-522957 (P2015-522957A)  
 【公表日】平成 27 年 8 月 6 日 (2015.8.6)  
 【年通号数】公開・登録公報 2015-050  
 【出願番号】特願 2015-507191 (P2015-507191)  
 【国際特許分類】

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/01 (2006.01)

G 0 6 F 3/048 (2013.01)

【 F I 】

H 0 4 M 1/00 V

G 0 6 F 3/01 3 1 0 A

G 0 6 F 3/048 6 5 3 A

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 3 月 22 日 (2016.3.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線通信の方法であって、

デバイスが、遠隔の近距離通信、N F C、デバイスと通信するために N F C アクションを実施することを試みていることを検出することと、

前記デバイスが前記 N F C アクションを実施することを試みているという決定に応答して、前記デバイスの第 2 の面におけるアンテナ位置に対応する前記デバイスの第 1 の面における第 1 の位置を示すための第 1 の感覚キューを提供することと、

前記デバイスが実施することを試みている N F C アクションのタイプを決定することと、および

前記決定されたタイプの N F C アクションに関連する 1 以上のファクタに基づいて、前記デバイスの前記第 1 の面上に第 2 の位置を示す第 2 の感覚キューを提供することと、を備える、方法。

【請求項 2】

前記 1 以上のファクタは、前記デバイスに関連する前記アンテナと前記遠隔の N F C デバイスに関連するアンテナとの比較上のサイズを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 1 以上のファクタは、前記アンテナ位置と前記遠隔の N F C デバイスに関連するアンテナとの磁気結合の強さを示す結合値を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記第 1 の感覚キューと前記第 2 の感覚キューのうちの少なくとも 1 つは、前記第 1 の面における前記デバイスのユーザインタフェース上の図形表現を備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記図形表現は、ターゲット形状、位置を示すテキスト、およびユーザが従う 1 以上の指示を示すテキストのうちの少なくとも 1 つを備える、請求項 4 に記載の方法。

**【請求項 6】**

前記第 1 の感覚キューと前記第 2 の感覚キューのうちの少なくとも 1 つは、可変的な振動インジケーションを備え、ここで、前記可変的な振動インジケーションは、前記第 1 のまたは第 2 の位置と前記デバイスの現在のポジションとの間の距離に基づいて、前記デバイス振動の強度および周波数のうちの少なくとも 1 つを変える、請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 7】**

前記第 1 の感覚キューと前記第 2 の感覚キューのうちの少なくとも 1 つは、可変的な聴覚インジケーションを備え、ここで、前記可変的な聴覚インジケーションは、前記第 1 のまたは第 2 の位置と前記デバイスの現在のポジションとの間の距離に基づいて、前記デバイス聴覚インジケーションの音量、音声メッセージ、周波数のうちの少なくとも 1 つを変える、請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 8】**

前記検出はさらに、  
前記デバイスのアクティベーション、  
アプリケーションの開始、  
前記デバイスの向きの変化、および  
ユーザ入力、  
のうちの少なくとも 1 つを検出することを備える、請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 9】**

装置であって、

デバイスが、遠隔の近距離通信、N F C、デバイスと通信するために N F C アクションを実施することを試みていることを検出するための手段と、

前記デバイスが前記 N F C アクションを実施することを試みているという決定に 응답して、前記デバイスの第 2 の面におけるアンテナ位置に対応する前記デバイスの第 1 の面における第 1 の位置を示すための第 1 の感覚キューを提供するための手段と、

前記デバイスが実施することを試みている N F C アクションのタイプを決定するための手段と、

前記決定されたタイプの N F C アクションに関連する 1 以上のファクタに基づいて、前記デバイスの前記第 1 の面上に第 2 の位置を示す第 2 の感覚キューを提供するための手段と、

を備える、装置。

**【請求項 10】**

前記 1 以上のファクタは、前記デバイスに関連する前記アンテナと前記遠隔の N F C デバイスに関連するアンテナとの比較上のサイズを含む、請求項 9 に記載の装置。

**【請求項 11】**

前記 1 以上のファクタは、前記アンテナ位置と前記遠隔の N F C デバイスに関連するアンテナとの磁気結合の強さを示す結合値を含む、請求項 9 に記載の装置。

**【請求項 12】**

前記第 1 の感覚キューと前記第 2 の感覚キューのうちの少なくとも 1 つは、前記第 1 の面における前記デバイスのユーザインタフェース上の図形表現を備える、請求項 9 に記載の装置。

**【請求項 13】**

前記図形表現は、ターゲット形状、位置を示すテキスト、およびユーザが従う 1 以上の指示を示すテキストのうちの少なくとも 1 つを備える、請求項 12 に記載の装置。

**【請求項 14】**

前記第 1 の感覚キューと前記第 2 の感覚キューのうちの少なくとも 1 つは、可変的な振動インジケーションを備え、ここで、前記可変的な振動インジケーションは、前記第 1 のまたは第 2 の位置と前記デバイスの現在のポジションとの間の距離に基づいて、前記デバイス振動の強度および周波数のうちの少なくとも 1 つを変える、請求項 9 に記載の装置。

**【請求項 15】**

コンピュータプログラム製品であって、  
実行される時に、少なくとも1つのコンピュータに、請求項1から8に記載の方法のう  
ちのいくつかに依る方法を実行させるためのコード  
を備えるコンピュータ読み取り可能な媒体、  
を備える、コンピュータプログラム製品。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0071

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0071】

[0080] 前述の開示は、例示の態様および/または態様を説明するが、添付の特許請求の範囲によって定義される態様および/または説明された態様の範囲を逸脱することなく、本明細書で多様な変化および修正がなされることができるとは留意されるべきである。さらに、態様および/または説明された態様の要素は、単数形で特許請求あるいは説明され得るが、単数形への限定が明確に述べられていない限り、複数系が考慮されている。さらに、態様および/または任意の態様の一部または全ては、他に指定されない限り、態様および/または任意の他の態様の一部または全てで利用され得る。

以下に、本願出願の当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

【C1】

無線通信の方法であって、  
デバイスが、遠隔の近距離通信(NFC)デバイスと通信するためにNFCアクション  
を実施することを試みていることを検出することと、  
前記デバイスが前記NFCアクションを実施することを試みているという決定に応答し  
て、前記デバイスの第2の面におけるアンテナ位置に対応する前記デバイスの第1の面  
における第1の位置を示すための第1の感覚キューを提供することと、  
前記デバイスが実施することを試みているNFCアクションのタイプを決定することと  
、および  
前記決定されたタイプのNFCアクションに関連する1以上のファクタに基づいて、前  
記デバイスの前記第1の面上に第2の位置を示す第2の感覚キューを提供することと、  
を備える、方法。

【C2】

前記1以上のファクタは、前記デバイスに関連する前記アンテナと前記遠隔のNFCデ  
バイスに関連するアンテナとの比較上のサイズを含む、C1に記載の方法。

【C3】

前記1以上のファクタは、前記アンテナ位置と前記遠隔のNFCデバイスに関連するア  
ンテナとの磁気結合の強さを示す結合値を含む、C1に記載の方法。

【C4】

前記第1の感覚キューと前記第2の感覚キューのうちの少なくとも1つは、前記第1の  
面における前記デバイスのユーザインタフェース上の図形表現を備える、C1に記載の方  
法。

【C5】

前記図形表現は、ターゲット形状、位置を示すテキスト、およびユーザが従うための1  
以上の指示を示すテキストのうちの少なくとも1つを備える、C4に記載の方法。

【C6】

前記第1の感覚キューと前記第2の感覚キューのうちの少なくとも1つは、可変的な振  
動インジケーションを備え、ここで、前記可変的な振動インジケーションは、前記第1の  
または第2の位置と前記デバイスの現在のポジションとの間の距離に基づいて、前記デバ  
イス振動の強度および周波数のうちの少なくとも1つを変える、C1に記載の方法。

【C7】

前記第 1 の感覚キューと前記第 2 の感覚キューのうちの少なくとも 1 つは、可変的な聴覚インジケーションを備え、ここで、前記可変的な聴覚インジケーションは、前記第 1 のまたは第 2 の位置と前記デバイスの現在のポジションとの間の距離に基づいて、前記デバイス聴覚インジケーションの音量、音声メッセージ、周波数のうちの少なくとも 1 つを変える、C 1 に記載の方法。

[ C 8 ]

前記検出はさらに、  
前記デバイスのアクティベーション、  
アプリケーションの開始、  
前記デバイスの向きの変化、および  
ユーザ入力、  
のうちの少なくとも 1 つを検出することを備える、C 1 に記載の方法。

[ C 9 ]

コンピュータプログラム製品であって、  
デバイスが、遠隔の近距離通信 ( N F C ) デバイスと通信するために N F C アクションを実施することを試みていることを検出し、  
前記デバイスが前記 N F C アクションを実施することを試みているという決定にตอบสนองして、前記デバイスの第 2 の面におけるアンテナ位置に対応する前記デバイスの第 1 の面における第 1 の位置を示すための第 1 の感覚キューを提供し、  
前記デバイスが実施することを試みている N F C アクションのタイプを決定し、および  
前記決定されたタイプの N F C アクションに関連する 1 以上のファクタに基づいて、前記デバイスの前記第 1 の面上に第 2 の位置を示す第 2 の感覚キューを提供する、  
ためのコードを備えるコンピュータ読み取り可能な媒体、  
を備える、コンピュータプログラム製品。

[ C 1 0 ]

前記 1 以上のファクタは、前記デバイスに関連する前記アンテナと前記遠隔の N F C デバイスに関連するアンテナとの比較上のサイズを含む、C 9 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 1 1 ]

前記 1 以上のファクタは、前記アンテナ位置と前記遠隔の N F C デバイスに関連するアンテナとの磁気結合の強さを示す結合値を含む、C 9 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 1 2 ]

前記第 1 の感覚キューと前記第 2 の感覚キューのうちの少なくとも 1 つは、前記第 1 の面における前記デバイスのユーザインタフェース上の図形表現を備える、C 9 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 1 3 ]

前記図形表現は、ターゲット形状、位置を示すテキスト、およびユーザが従うべき 1 以上の指示を示すテキストのうちの少なくとも 1 つを備える、C 1 2 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 1 4 ]

前記第 1 の感覚キューと前記第 2 の感覚キューのうちの少なくとも 1 つは、可変的な振動インジケーションを備え、ここで、前記可変的な振動インジケーションは、前記第 1 のまたは第 2 の位置と前記デバイスの現在のポジションとの間の距離に基づいて、前記デバイス振動の強度および周波数のうちの少なくとも 1 つを変える、C 9 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 1 5 ]

前記第 1 の感覚キューと前記第 2 の感覚キューのうちの少なくとも 1 つは、可変的な聴覚インジケーションを備え、ここで、前記可変的な聴覚インジケーションは、前記第 1 のまたは第 2 の位置と前記デバイスの現在のポジションとの間の距離に基づいて、前記デバ

イス聴覚インジケーションの音量、音声メッセージ、周波数のうちの少なくとも１つを変える、C 9 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 1 6 ]

検出するための前記コードはさらに、  
前記デバイスのアクティベーション、  
アプリケーションの開始、  
前記デバイスの向きの変化、および  
ユーザ入力、  
のうちの少なくとも１つを検出するためのコードを備える、C 9 に記載のコンピュータプログラム製品。

[ C 1 7 ]

装置であって、  
デバイスが、遠隔の近距離通信（N F C）デバイスと通信するために N F C アクションを実施することを試みていることを検出するための手段と、  
前記デバイスが前記 N F C アクションを実施することを試みているという決定に応答して、前記デバイスの第 2 の面におけるアンテナ位置に対応する前記デバイスの第 1 の面における第 1 の位置を示すための第 1 の感覚キューを提供するための手段と、  
前記デバイスが実施することを試みている N F C アクションのタイプを決定するための手段と、  
前記決定されたタイプの N F C アクションに関連する 1 以上のファクタに基づいて、前記デバイスの前記第 1 の面上に第 2 の位置を示す第 2 の感覚キューを提供するための手段と、  
を備える、装置。

[ C 1 8 ]

前記 1 以上のファクタは、前記デバイスに関連する前記アンテナと前記遠隔の N F C デバイスに関連するアンテナとの比較上のサイズを含む、C 1 7 に記載の装置。

[ C 1 9 ]

前記 1 以上のファクタは、前記アンテナ位置と前記遠隔の N F C デバイスに関連するアンテナとの磁気結合の強さを示す結合値を含む、C 1 7 に記載の装置。

[ C 2 0 ]

前記第 1 の感覚キューと前記第 2 の感覚キューのうちの少なくとも１つは、前記第 1 の面における前記デバイスのユーザインタフェース上の図形表現を備える、C 1 7 に記載の装置。

[ C 2 1 ]

前記図形表現は、ターゲット形状、位置を示すテキスト、およびユーザが従うべき 1 以上の指示を示すテキストのうちの少なくとも１つを備える、C 2 0 に記載の装置。

[ C 2 2 ]

前記第 1 の感覚キューと前記第 2 の感覚キューのうちの少なくとも１つは、可変的な振動インジケーションを備え、ここで、前記可変的な振動インジケーションは、前記第 1 のまたは第 2 の位置と前記デバイスの現在のポジションとの間の距離に基づいて、前記デバイス振動の強度および周波数のうちの少なくとも１つを変える、C 1 7 に記載の装置。

[ C 2 3 ]

前記第 1 の感覚キューと前記第 2 の感覚キューのうちの少なくとも１つは、可変的な聴覚インジケーションを備え、ここで、前記可変的な聴覚インジケーションは、前記第 1 のまたは第 2 の位置と前記デバイスの現在のポジションとの間の距離に基づいて、前記デバイス聴覚インジケーションの音量、音声メッセージ、周波数のうちの少なくとも１つを変える、C 1 7 に記載の装置。

[ C 2 4 ]

前記第 1 の面は、前記第 2 の面に対し実質的に平行であり、前記第 1 のおよび第 2 の面は、前記デバイスの向かい合う側にあり、ここで、前記第 1 の面は、ユーザインタフェー

スをさらに含み、ここで、前記第 1 のおよび第 2 の感覚キューのうちの少なくとも 1 つは、前記ユーザインタフェース上に表示される 1 以上の図形表現をさらに含む、C 1 7 に記載の装置。

[ C 2 5 ]

前記第 2 の面は、前記デバイスが前記 N F C アクションを実施するようにポジショニングされる時、ユーザには視覚的にアクセス可能でない、C 1 7 に記載の装置。

[ C 2 6 ]

検出するための前記手段はさらに、  
前記デバイスのアクティベーション、  
アプリケーションの開始、  
前記デバイスの向きの変化、および  
ユーザ入力、

のうちの少なくとも 1 つを検出するための手段を備える C 1 7 に記載の装置。

[ C 2 7 ]

N F C 通信のための装置であって、

前記装置の第 1 の面上のユーザインタフェース、  
前記装置の第 2 の面からアクセス可能なアンテナ、  
メモリ、

前記メモリに結合されたプロセッサ、および

前記メモリ、前記ユーザインタフェース、または前記プロセッサのうちの少なくとも 1 つに結合された N F C アクションポジション最適化モジュールを備え、前記 N F C アクションポジション最適化モジュールは、

前記装置が、遠隔の近距離通信 ( N F C ) デバイスと通信するために N F C アクションを実施することを試みていることを検出し、

前記装置が前記 N F C アクションを実施することを試みているという決定に応答して、前記装置の前記第 2 の面における前記アンテナ位置に対応する前記装置の前記第 1 の面における第 1 の位置を示すための第 1 の感覚キューを提供し、

前記装置が実施することを試みている N F C アクションのタイプを決定し、および

前記決定されたタイプの N F C アクションに関連する 1 以上のファクタに基づいて、前記装置の前記第 1 の面上に第 2 の位置を示す第 2 の感覚キューを提供する、  
ように構成される、装置。

[ C 2 8 ]

前記 1 以上のファクタは、前記装置に関連する前記アンテナと前記遠隔の N F C デバイスに関連するアンテナとの比較上のサイズを含む、C 2 7 に記載の装置。

[ C 2 9 ]

前記 1 以上のファクタは、前記アンテナ位置と前記遠隔の N F C デバイスに関連するアンテナとの磁気結合の強さを示す結合値を含む、C 2 7 に記載の装置。

[ C 3 0 ]

前記第 1 の感覚キューと前記第 2 の感覚キューのうちの少なくとも 1 つは、前記第 1 の面における前記装置の前記ユーザインタフェース上の図形表現を備える、C 2 7 に記載の装置。

[ C 3 1 ]

前記図形表現は、ターゲット形状、位置を示すテキスト、およびユーザが従うべき 1 以上の指示を示すテキストのうちの少なくとも 1 つを備える、C 3 0 に記載の装置。

[ C 3 2 ]

前記第 1 の感覚キューと前記第 2 の感覚キューのうちの少なくとも 1 つは、可変的な振動インジケーションを備え、ここで、前記可変的な振動インジケーションは、前記第 1 のまたは第 2 の位置と前記装置の現在のポジションとの間の距離に基づいて、前記装置振動の強度および周波数のうちの少なくとも 1 つを変える、C 2 7 に記載の装置。

[ C 3 3 ]

前記第 1 の感覚キューと前記第 2 の感覚キューのうちの少なくとも 1 つは、可変的な聴覚インジケーションを備え、ここで、前記可変的な聴覚インジケーションは、前記第 1 のまたは第 2 の位置と前記装置の現在のポジションとの間の距離に基づいて、前記装置聴覚インジケーションの音量、音声メッセージ、周波数のうちの少なくとも 1 つを変える、C 2 7 に記載の装置。

[ C 3 4 ]

前記第 1 の面は、前記第 2 の面に対し実質的に平行であり、前記第 1 のおよび第 2 の面は、前記装置の向かい合う側にあり、ここで、前記第 1 のおよび第 2 の感覚キューのうちの少なくとも 1 つは、前記ユーザインタフェース上に表示される 1 以上の図形表現をさらに含む、C 2 7 に記載の装置。

[ C 3 5 ]

前記第 2 の面は、前記装置が前記 N F C アクションを実施するようにポジショニングされる時、ユーザには視覚的にアクセス可能でない、C 2 7 に記載の装置。

[ C 3 6 ]

前記検出することはさらに、

前記装置のアクティベーション、

アプリケーションの開始、

前記装置の向きの変化、および

ユーザ入力、

のうちの少なくとも 1 つを検出することを備える C 2 7 に記載の装置。